

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 コンテナターミナル再編 担当課長	連携担当課 (港営部)管財課 (建設部)管理課
基本施策名	02ロジスティクスハブ機能の強化				
個別施策名	09ロジスティクス機能を拡充する		連絡先	052-654-7906	
事務事業名	01西部地区への物流センターの誘致※ ※「その他特記事項」参照				

1 PLAN(目的・概要)

目的	物流センターを誘致し立地させ、ロジスティクス機能を強化します。	事業期間	平成16年度～継続
概要	コンテナ機能が集積する西部地区において、名古屋港のロジスティクス機能の強化・高度化に資する物流センターを公募します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	石川県及び岐阜県の企業にポートセールスを実施しました。鍋田ふ頭貸付地ロジスティクスハブ形成事業の交渉件者が辞退したため、再公募を実施しました。 22年度も引き続き公募を実施し、東京での国際物流展、長野県及び滋賀県の企業へポートセールスを行います。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
公募件数(累計)	単位	目標	0	2	2	2	2	貸付地2件(内1件公募中)、分譲予定地2件(平成24年以降分譲予定のため目標値から除外しました。)
	件	実績	0	1	1			
国際物流展アンケート回収件数	単位	目標	-	500	-	500	-	アンケートの回収件数を把握することにより、名古屋港への進出意欲の高さを見ます。
	件	実績	-	450	-			
事業費	千円		2,043	49	1,417			
人員 正規職員	人	0.20	2.00	1.15	2.00			
	嘱託職員	人						
人件費相当額	千円	1,737	17,540	9,869	17,556			
事業費・人件費の合計	千円	1,737	19,583	9,918	18,973			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
事業着手件数(累計)	単位	目標	0	2	2	2	2	
	件	実績	0	1	1			
	達成率(%)		-	50.0	50.0			
観点	課題の有無							現状の「見える化」
	必要性	有・無						
	有効性	有・無						
効率性	実施主体の妥当性	有・無						その他特記事項 ※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 1-02-09-02名古屋港に立地する企業に対する各種優遇制度の活用 1-02-09-03国際物流総合展への出展
	受益者負担の適正性	有・無						
	経済性	有・無						

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大	維持	縮小	具体的需要を見極めつつ、新たな事業者誘致に向けたポートセールスを行っていくため。
		○			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	国際総合物流展2010名古屋港ブースへの来場企業に対して、鍋田ふ頭の貸付地への進出意思の確認を行います。また、企業訪問や愛知県等が主催する愛知県産業立地キャラバンへの参加を行い、名古屋港の利用及び企業進出を促します。				